

重六の者限り口折雷をさかす
 一まらして郵に重を置けり
 筆一とさかす方針をさかす
 一例をさかす日露戦行
 且名たり一アレキセフ大将、クニバトシ
 大将は軍を裁判の法果、禁錮の刑を
 又けり、又はネブカトア初め
 ステラセル夫人等の直折、邦人の興味
 を以て御の事記す、と有り、
 訪問をさかす、何と有り、
 一ルネイ

朝日新聞合資会社

のは訪問、種々の材料、
 等々、或は折費をさかす、
 の自由、のさかす、
 したる、電報料、
 露都、滞在、
 の仕、
 同、
 之前、
 は、
 は露都、
 通、
 在、
 光、
 教、
 と



14
 2090
 55(7)

おかしきもの露部が分り

邦本社の老々たる露部の特回即ち
社告を色々と結果として一評法者
の期待即ちその先送り電報より
老々たる郵信を是れ起任の障を析せ
る尚鉄道以後の記す一在河の題け
おさるもの厚く流るるを露部郵
信の拘束を促し一投書も此あり
多押筆一此是等は即ち露信
通一露部の情一復眼を是をる

朝日新聞合資会社

老々の一彼の因に析けの實際の数字は
如何なるものあるかと此ありの興味を以
てしつたる語者の声と有り
大阪毎日新聞の中々筆は出芳甘と
巴里の特回即ち其形中一記す一此
河而の拘束即ち此日記におき上はま
とて郵信を重き要するとして何
其等と河而の對抗の上を析るる老
々の一露部郵信は一厚く即実
中々の在在の情の如何なる



44
2090
55(7)

びのりともあることよ

遠隔の地、特に出産にせらるる場合あり
往々本社より同不慮なきお返りの臨通
を欠かすことお生一々候、是れより
了後通行の上、同するは善く是れ
無事遠隔通行し、又は書方より中
生と申し候、此はお返りの札に比
等の弊も自生お返りしことあり
二付下付下生、お返り候、此は
き、一折前より自生、お返り候、

朝日新聞合資會社

四十二年三月

平

大阿朝

村山龍平



露都

長谷川辰之助様



14
2090
55(7)

露都 露都料明細

金 百九拾六元九角七分 四 五 年 分 五

金 百九拾六元九角七分 〃 〃 〃 〃 〃

金 四百九拾六元九角七分 〃 〃 〃 〃 〃

金 五百九拾六元九角七分 〃 〃 〃 〃 〃

金 七百九拾六元九角七分 〃 〃 〃 〃 〃

金 五百八拾六元九角七分 〃 〃 〃 〃 〃

本表は以上報告の如く露都電報料に

浦夕より本社に付電報料を加算せ

らるるなり

朝日新聞合資會社



14 2090 55(7)

露都日本大使館
長谷川辰之助様
気付

via Siberia
Mr. Hasegawa Tatsunosuke

% The Japanese Ambassade

St. Petersburg

Registered Russia

OSAKA JAPAN
R No. 814





102-3-1

特別
14
2090
55(7)
封筒



From The Osaka Asahi
Shimbun
Osaka, Japan.